

優良工事事業者を「電子銘板」で顕彰



発行・編集
三島建設業協会
広報委員会
三島市玉川250の2
電話 (055)975-0332
ホームページ https://www.misimakenkyo.jp
発行日 毎月1日

東部農林・沼津土木 優良表彰 三建会員から3社受賞



静岡県東部農林事務所と沼津土木事務所は、9月20日、沼津市内で「令和6年度優良建設工事・優良業務委託表彰式」を開き、受賞者に表彰状を手渡した。

三建会員からは、東部農林関係で1社、沼津土木関係で2社が表彰された。

冒頭、あいさつに立った東部農林事務所の市川浩司所長は、「激甚化する災害への対策など、県行政に協力いただき感謝する。優秀な成績を収めた受賞者をたたえた。三建会員の受賞者は次のとおり(敬称略)。

【東部農林事務所長表彰】
▽ICT優良工事部門 原田建設
【沼津土木事務所長表彰】
▽優良工事部門 中林建設
▽災害復旧部門 加和太建設



薄化粧を纏った草が、冬到来のはな模様を描く (三島市内 撮影 村上益男氏)

熱海土木事務所が 優良表彰式を開催

三建会員から6社3個人受賞

静岡県熱海土木事務所は10月4日、伊東市内で令和6年度優良建設工事表彰式を開催し、令和5年度に完成した工事の中から10件を表彰した。

冒頭、佐藤芳健所長は「地域の守り手としてご尽力いただき感謝しています。三建会員の受賞者は次のとおり(敬称略)。

【熱海土木事務所長表彰】
▽優良工事部門 青木建設
▽優良技術者部門 池内賀一(齊藤組)
宇野久夫(齊藤組)
諏訪文仁(青木建設)
【災害復旧・地域貢献部門表彰】
塩地総合開発
齊藤組
△働き方改革工事部門 齊藤組
▽維持管理業務部門 大館建設
渡辺建設



熱海土木 三島労基署と 安パト実施

安全委・建災防三島分会

三島建設業協会安全委員会(森田崇委員長)と建設業労働災害防止協会静岡支部三島分会(佐野茂樹会長)は10月23日、熱海土木事務所(佐藤芳健所長)や三島労働基準監督署(大島均署長)と合同で令和6年度第2回建設工事安全パトロールを実施した。同パトロールは、市・市の若手土木職員へのOJT研修も兼ねており、当日は(熱海市・伊東市)の職員や協

建設業労働災害防止協会静岡支部(石井源一支部長)は10月29日、創立60周年記念静岡建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。会員ら約230人が参加し、安全表彰の受賞者や安全標語・けんせつ川柳の選者らに、石井支部長から感謝状が授与された。

来賓祝辞に続き、参加者全員で安全の誓いを唱へ、労働災害撲滅に向け心を新たにしました。

建設業労働災害防止協会静岡支部(石井源一支部長)は10月29日、創立60周年記念静岡建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。会員ら約230人が参加し、安全表彰の受賞者や安全標語・けんせつ川柳の選者らに、石井支部長から感謝状が授与された。

来賓祝辞に続き、参加者全員で安全の誓いを唱へ、労働災害撲滅に向け心を新たにしました。

県建設業労働災害防止大会で安全表彰 三島分会から2社4個人が受賞

建設業労働災害防止協会静岡支部(石井源一支部長)は10月29日、創立60周年記念静岡建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。会員ら約230人が参加し、安全表彰の受賞者や安全標語・けんせつ川柳の選者らに、石井支部長から感謝状が授与された。

来賓祝辞に続き、参加者全員で安全の誓いを唱へ、労働災害撲滅に向け心を新たにしました。

建設業労働災害防止協会静岡支部(石井源一支部長)は10月29日、創立60周年記念静岡建設業労働災害防止大会を静岡市内で開いた。会員ら約230人が参加し、安全表彰の受賞者や安全標語・けんせつ川柳の選者らに、石井支部長から感謝状が授与された。

来賓祝辞に続き、参加者全員で安全の誓いを唱へ、労働災害撲滅に向け心を新たにしました。



一般社団法人
美しい伊豆創造センター会長
きくち ゆたか
菊地 豊氏

【略歴】2008年4月伊豆市長就任、2024年4月伊豆市長5期目、同年7月一般社団法人美しい伊豆創造センター会長就任、同年10月伊豆広域防災協議会会長就任。



「伊豆市長ではあるが『伊豆半島』という広域行政のため、尽力していく」と話すのは一般社団法人美しい伊豆創造センター会長に就任した菊地豊氏だ。

伊豆市長として日夜、市民のため業務に励んでいるが、同法人の理事も務めており、2024年7月30日の臨時理事会で選任を受けた。

7月6町首長会議で策定した「伊豆半島グランデザイン」推進のため、菊地会長は根幹である道路ネットワークの強化、さらなる伊豆縦貫道の整備に重きを置く。「道路の整備は、伊豆半島の観光・防災・医療ネットワーク

さらなる魅力ある伊豆半島へ

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

根幹である道路整備が

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

さらなる魅力ある伊豆半島へ

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に



「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に



石二つあれば打楽器クリスマス

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

「伊豆半島」の魅力をさらに引き出すためには、7市6町が協力する必要がある。観光客の数を増やすことも必要だが、まずはこの伊豆半島に定着した観光客が足を延ばし、滞在時間の増加に

東部農林事務所幹部と技術懇談会開催

三島建設業協会(佐野茂樹会長)は11月8日、術懇談会を協会大会議室で開いた。「受発注者の相互理解促進、若手が活躍できる場づくり」をテーマに、三島建設業協会の協賛で、三島建設業協会(佐野茂樹会長)と静岡農林事務所(佐野茂樹会長)との技術懇談会を開催した。



三島建設業協会(佐野茂樹会長)は11月8日、術懇談会を協会大会議室で開いた。「受発注者の相互理解促進、若手が活躍できる場づくり」をテーマに、三島建設業協会の協賛で、三島建設業協会(佐野茂樹会長)と静岡農林事務所(佐野茂樹会長)との技術懇談会を開催した。

技術懇談会では、「設計の現地不一致解消」に向けて、実際に発生した事例に基づく改善・解決策などを議論した他、技術支援・検討の実施に関する協定について話し合った。また、三建会員各社の若年土木技術者の育び掛けた。

成プログラムを紹介した他、東部農林側も研修基本計画に沿った若手農業土木技術者の育成事例を紹介した。「新技術への対応」をテーマにした懇談では、各社が取り組んでいる事例や導入しているツールを紹介した上で、受発注者間で共に学び、共有する機会の必要性について話し合った。

11月13、14日に県内10市7エリアで実施された「令和6年度緊急消防防災訓練」に、伊豆市・伊豆の国市の建設企業をはじめ、国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所や静岡県警察本部、陸上自衛隊、県内の消防本部など多くの公的機関・企業が参加した。

14日に伊豆市の天城ふもと広場で行われた道路啓開訓練には、三島建設業協会の会員企業が参加。崩れた土砂や倒木により通行が不可能となった道路を想定し、「CIDEREST」のヒブスを着用した原田建設と土屋建設の社員が重機を使って土砂や倒木を除去する訓練を行った。

土屋建設の土屋昭社長は「防災機関が互いに顔の見える関係性を構築し協働することが、伊豆地域全体の広域的な防災力の向上につながる。今後の機会を通じて、実践的な訓練を実施していく」考えを示した。

三島建設業協会(佐野茂樹会長)、静岡県土木施工管理技士会三島地区(西村保徳地区長)は11月3日、熱海市内で開かれた「あたみ防衛防災フェスタ」に参加・協力した。

同イベントは令和3年7月に伊豆山で発生した土石流災害の復興イベントとして企画されたもので、今回で4回目の開催となる。熱海警察署や熱海市消防本部、海上保安庁などもブース展示などで参加した。

今回は、協会・技士会から参加した11人がCIDEREST(建設災害応急支援隊)のヒブスを着用し、来場者に対して建設業が果たしている役割を説明した。また、11月18日の「土木の日」に合わせたイベントを実施した他、児童らにミニショベルカーを使ったゲーム等を行った。

近和電業株式会社
代表取締役 今瀬 誠
支社 静岡県三島市平成台8番地
TEL(055)986-5211(代)
静岡本社・東京支社

「地域のお仕事発見!」小学生職場体験講座の開催

静岡県東部地域局 次長兼地域課長 神戸重敏



現在、私が勤務している東部地域局は、富士山麓地域から伊豆半島地域にわたる東部地域の10市4町を担当エリアとしており、災害等へ対応する危機管理や伊豆半島を中心とした観光振興や移住定住の促進など、地域が抱える課題を解決し、地域の振興を図る様々な取り組みを行っています。本県においても人口減少が進む中、若い世代が地元へ働き場がないという理由から、首都圏などの県外へ流出していることが喫緊の課題となっています。

「こつした中、東部地域には、三島建設業協会の会員企業の皆様をはじめ、元気で魅力的な企業が多く存在することから、地域の企業や事業所の魅力を知らせてもらい、将来の職業選択の一つとしてもらうため、地域の小学生とその保護者を対象に、企業紹介と職場体験を兼ねた「地域のお仕事発見!小学生職場体験講座」を開催いたしました。

この結果、令和6年度の実績は、参加企業は128社と昨年に比べ2.7倍、参加者は小学生と保護者を合わせて2438人、2.8倍と大きく伸びました。また、参加企業からは「子供だけでなく保護者にも企業を知ってもらうことができてよ

かった」、「社内の結束が深まり、従業員のモチベリアップにつながった」、「参加者からは「従業員の皆さんが親切、丁寧で会社の印象が良くなった」、「将来、就業先として魅力を感じることができた」など、参加者、企業双方から大変好評でありました。

今年度、三島建設業協会様からは、青木建設(株)様、小野建設(株)様、加和太建設(株)様、建設(株)様、土屋建設(株)様、河津建設(株)様の6社

に、参加いただきました。各社の体験講座を、紹介いたします。青木建設では、熱海港に停泊する起重機船「青雲号」に乗船し、実際にクレーンで重量物を吊るデモンストレーションを実施していただきました。小野建設では、3Dで作られた建物の中をVRゴーグルを使って歩いたり、小さなショベルカーをリモコンで操作、ダウインチ橋の組み立てなどを体験しました。

加和太建設では、高所作業車に乗って記念写真、シヨベルカーでボールをすくう重機体験、大きな水鉄砲での狙撃機械体験など7つのコンテンツを体験しました。山本建設では、建設資材での掲示版づくり、3D機材を用いた宝探し、

シヨベルカーの操作などを体験しました。土屋建設では、レンガを使いアーチ橋をつくる体験やバックホウの試乗体験などで建設業の魅力を高めました。河津建設では巨大クレーンの操作、水中ドローンや建設重機の操作、測量体験など7つのプログラムを体験しました。東部地域局では、三島建設業協会様をはじめ多くの地元企

業の皆様のご協力のおかげで、今後とも、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

伊豆の国市神島49-1 〒410-2325
TEL 0558(76)-3299
FAX 0558(76)-5007

倉田工業株式会社
〒411-0853 静岡県三島市大社町14-5
TEL.055-973-2200(代)
FAX.055-973-2202

http://kuratakogyo.com/

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

熱海生コンクリート販売協同組合
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37
TEL(0557)44-4411 FAX(0557)44-4412
E-mail: ataminamaconkumiai@joy.ocn.ne.jp

◆組合員

伊東協同生コン株式会社 熱海工場
熱海市熱海1993
TEL(0557)52-6082 FAX(0557)86-1117

稲村生コンクリート株式会社
熱海市上多賀457番地の1
TEL(0557)68-1621 FAX(0557)68-0418

伊東協同生コン株式会社
伊東市吉田1026-37
TEL(0557)45-1366 FAX(0557)45-0360

株式会社富士宇部 東伊豆工場
賀茂郡東伊豆町稲取2230-1
TEL(0557)95-3168 FAX(0557)95-1988

鉄骨のご用命は当社へ

国土交通大臣認定工場Mグレード

株式会社 大城工業
代表取締役 大城 英一
住所 伊豆の国市神島49-1 〒410-2325
TEL 0558(76)-3299
FAX 0558(76)-5007

静岡県東部・伊豆で展開する一流の重機土工集団

倉田工業株式会社
KURATA
〒411-0853 静岡県三島市大社町14-5
TEL.055-973-2200(代)
FAX.055-973-2202

倉田工業 三島 検索
http://kuratakogyo.com/

電気設備工事 設計施工

株式会社ダイナナ
代表取締役社長 内田 聡
本社 三島市梅名371-2
電話(055)977-3511(代)
函南営業所・厚木支店

大野電機工業株式会社
代表取締役 日原 誠
三島市南二日町24-27 電話(055)975-1040(代)

小窓

私は田舎育ちで、学校の帰りにはずっと田んぼ沿いの水路にモクズガニがいなかった。帰りに探しながら帰ったものでした。そのたぬ、今になっても、水路や川沿いを歩くと、ついでに何か生き物がいないか探しながら歩いてしまっ習慣が身に付いてしまっています。

近年は水路が整備され、生態系は回復不可能な状況に近づいていると、対策の強化を訴える記事を目にしました。



昔は普通に田んぼにいたタニシやイモリ、ミスカマキリやタイコウチといった生き物は全くとなくなっているほど見なくなりました。

そんな折に、地球上の生物多様性の豊かさを示す指数が、自然環境の損失や気候変動により、過去50年で73%低下したとの報告を世界自然保護基金(WWF)が発表し、生態系は回復不可能な状況に近づいていると、対策の強化を訴える記事を目にしました。

「生物多様な社会」

三建広報委員 天野謙一郎
加和太建設(株)

生物多様性といえは、私たちの地球には、目に見えない細菌からゾウのような大きなものまで、3000万種類もの生き物がいるといわれています。すべての生き物は長い歴史の中で、異なる環境下で自分たちの居場所を見つけてながら、共に進化してきました。アリもハトも、ライオンもヒトも、タン

ボボも柿の木も、バクテリアも、それぞれの個性を認め合い、お互いにつながり、直接的・間接的に支え合い存在してきたのです。

今回の発表では、生物多様性の豊かさを示す2020年の指数は、1970年と比べて73%減少していること。

第2の危機は、自然に対する働きかけの縮小による危機で、ライフスタイルの変化により、自然に対する人の働きかけが縮小し、生物が絶滅の危機に瀕したり、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が低下していること。

第3の危機は、人間により持ち込まれたものによる危機で、外来種が持込まれることで、在来種が食べられたり、すみかが奪われたりして、生態系のバランスが崩れたり、また、化学物質が生息地に悪化から淡水魚や両生類が「高いストレスを受けている」との内容でした。

また、その生物多様性

境の破壊による危機で、地球温暖化などの地球環境の変化によって、多くの生物が絶滅や生態系の崩壊のおそれがあることとです。

事実、この対する働きかけの縮小による危機で、ライフスタイルの変化により、自然に対する人の働きかけが縮小し、生物が絶滅の危機に瀕したり、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が低下していること。



三島市にある境川・清住緑地公園のあふれ出る湧水

熱海高校で出前講座

みらい創特委

三島建設業協会みらい創設特別委員会(土屋昭委員長)は9月20日と10月4日の二日間、熱海高校の2年生を対象に出前講座を実施した。

今年の出前講座では、高校生に建設業の魅力を知ってもらおうと、若手委員が中心となり四つの企画を考案。「職人の仕事」「道路・橋」「河川・海岸」「測量」のそれぞれテーマで、楽しみながら学べる講座を実施した。

4日に行われた「河川・海岸」をテーマにした講座では、生徒がモルタルで消波ブロック作り挑戦。電動工具でセメントと水を混ぜ合わせ、絞り袋に入れた

後、型枠に流し込み作成した。生徒たちは講師を務めた宮口純弥さん、鈴木健斗さん、村上有沙さん、佐藤風花さんのサポートを受けながら、悪戦苦闘しながらも消波ブロックを作り上げた。

当日、引率を務めた小林清次氏(新光重機土木)は「建設技術者が現場でどのような業務に当たっているのか、その一端を知ってもらえればと考えている。今後も出前講座などを通じて、建設業の魅力を伝えていきたい」と話していた。

このままでは、2030年までに達成すべきSDGsの目標は、半分以上が未達成に終わる可能性があるとの話も出てお

私たちが今後どのような自然と向き合い、どのような決断と行動を取るかで、豊かな自然環境を未来の子供達に残せるか決まってくると言っても過言ではありません。

自然の劣化と気候変動が、相互に加速しあう負のサイクルの中で、私たち自然保護・再生の最前線にいる者の役割は、ますます大きくなっていくのではないのでしょうか。

迫る中、東勝寺に集まった北条方の男子870余名は寺に火をかけ自害。光綱を始めとする長崎一族も運命を共にした。

光綱が開基となった菩提寺・長昌院には、彼の位牌が残っており、戒名には「長昌院殿悦山入道円喜大居士」とあった。

顧みれば、源氏嫡流の御曹司・源頼朝と、平



熱海高校で出前講座の様子

「長崎氏」本貫の地

歴史よもやま話 262

和泉清

長崎は、静岡県伊豆の国市にある戸数50戸余の集落である。長崎という地名は各地に分布しているが、その語源は「岬の長く突き出した地形」に由来するとされる。(日本地名語源事典)

一方、長崎の地名は海岸のみならず内陸部にも見られる。伊豆の国市や静岡市清水区の長崎がその一例と言えるが、この

場合、集落の形状が細長い岬状を成していたことから名づけられたことが古い絵図からも推測できる。

鎌倉時代、伊豆国の長崎を本拠に「長崎氏」を名乗り、執権・北条氏の御内人(得宗家に仕えた武士)として権力をふるった一族がいたことが知られている。しかも長崎氏は、平氏嫡流の末裔であ

あった。

源平合戦が最終段階を迎えた元暦元年(1184)、伊勢国で一人の幼い男子が捕らえられた。

彼の名は平太郎盛国(平資盛の嫡男)、かの清盛の直系の曾孫である。

源頼朝は、かつて自身が池の禪尼の決死の嘆願によって生きながらえたとことから、その旧恩に報

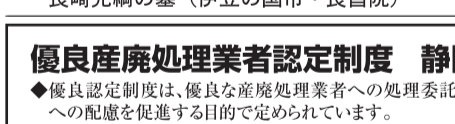
政に預け彼の庇護と監視を命じた。盛国は伊豆の山中の村荘で成人し、時政の家人となった。

盛国の子、盛綱は北条義時の寵臣となり、内管領(得宗家の家政を統括する職)に就いて長崎郷を与えられ、長崎平三郎兵衛尉盛綱と称した。彼は義時・泰時・経頼・時頼と4代の執権に仕え、第に頭角を現してゆく。

盛綱の嫡男の頼綱は父と同じく平左衛門尉を称し、8代執権・時宗の内管領として大きな勢力を持つに至った。特に弘安8年(1285)の霜月

このよつな状況の中で、後醍醐天皇の討幕活動が活発化し、ついに正中の変(1324)、元弘の変(1333)が勃発する。前者は失敗したが、後者は足利尊氏、新田義貞ら有力御家人たちが天皇方についたこともあって形成が逆転。ついに鎌倉幕府(北条氏)は滅亡の時を迎えた。

元弘3年(1333)5月22日、新田義貞軍が頼朝と、平



長崎光綱の墓(伊豆の国市・長昌院)

優良産廃処理業者認定制度 静岡県知事認定取得第1号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会「優良事業所」表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム

HP <http://www.sekitransys.co.jp>
本社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL (055) 988-6868

<p>廃棄物処理</p> <p>セキトランス処理対応</p> <p>破砕・圧縮・切断・溶融固化</p> <p>サーマルリサイクル施設</p> <p>焼却処分</p>	<p>クレーン作業</p> <p>住宅設備・自然エネルギー・くらし環境機器販売</p> <p>テックパル</p> <p>TEL/FAX 055-972-2560 URL: https://tecpar.jp</p> <p>システムキッチン</p> <p>システムバス</p> <p>電気衛生環境システム</p> <p>サワラナイデ</p> <p>感染予防! 接触回避!</p> <p>新日常品</p> <p>手指洗浄記録タイプ</p>
--	---

ヌマカン株式会社

代表取締役社長 伊藤 柳一

沼津支店
〒410-0065 静岡県沼津市花園町7-10
電話 055-922-5517 (代)

静岡支店
〒422-8027 静岡県静岡市駿河区豊田2丁目8-15
電話 054-281-4678 (代)

伊豆営業所
〒410-2317 静岡県伊豆の国市守木795-3
電話 0558-76-5881 (代)

<https://www.numakan.co.jp>

営業品目

砕石・割栗石
間知石・埋土工事

立岩石材(株) 伊豆市船原 (0558) 87-0831
二葉建設(株) 御殿場市新橋 (0550) 82-2087

伊豆地区採石業災害防止協議会

JIS工場からより良い製品をお届けします。コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。

(営業品目)
土木用間知ブロック・道路用製品他

土屋建材株式会社
屋尾工業株式会社

SHINKO

土木/解体工事・不動産事業

工事部: 伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362
本社: 伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755

産業廃棄物運搬・処分

処分場: 伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

(株)新光重機土木

三建めぐり

修善寺燕舎
代表取締役・デザイナー
かつのみよこ
勝野 美葉子 さん



～地域の誇りを形に変えて～

「買ってもらった作品が、別の方にお土産として渡り、少しでも修善寺のことを知ってもらえればうれしい」と話すのは、地元修善寺でギフトショップ兼デザインスタジオを営む、勝野氏だ。

デザインの大学で学ぶ中、生まれである修善寺のために学び得た知識を生かしたいと思い、大学4年目に起業。自身がデザインした修善寺の雰囲気が伝わるポストカードや修善寺温泉の入浴剤を販売。その他、日本のイラストレーターの作品や地元の雑貨で店内を彩る。「最近では外国の観光客が増えている中で、自分の作ったデザインや商品が少しでも

地元の広報になれば」と精力的に活動する。経営から8年が経過し、最近ではレンタルスペースの貸し出しも行い、さまざまな形で地元の活性化を図る。

目標はさらに地元を元気にすること。「外の観光客に魅力を伝えることも大切だが、地元の人々がさらに地元を誇りを持ち、より挑戦できるような環境にしていきたい」と抱負を語る。「今の自分の仕事は、地元の魅力に形を与えること。形のないものをデザインしていくことだと考えている」とも話す。

建設業のイメージは、引っ張ってくれる頼もしいイメージ。「体が資本の仕事と認識している。時間があれば修善寺の温泉で身体を癒してほしい、もしよかったら入浴剤も販売しているのでお家で楽しんでもらえれば」と話す。

趣味は、文通、カメラ、旅行。文通で知り合った方に会いに旅行し、そのときの風景をカメラに収める。伊豆市出身、1995年生まれ。



作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

作品の魅力や由来語る勝野さん

フランス事情⑧

ミレーの「種まく人」が「トトロ」に?

三建常任相談役 小野 徹



ナダールによるミレーの肖像写真。ミレーは写実家のナダールが写した肖像写真であることが多い。

フランス北部、ノルマンディー地方の、大西洋に突き出したグリユシーの農家に生まれたジャン・フランソワ・ミレーは、近くのシエルブルやパリの美術学校に学んで、1840年の「サロン・ド・パリ(＝サロン)」に肖像画で初入選し、1845年からは妻のカトリヌとともに、画業で生業を立てるべくパリに出たものの、時たま注文のある肖像画や、意に染まぬ女性の裸体画などで、細々と糊塗を凌いでいた。実際、19世紀のヨーロッパでは、フランス革命が及ぶと、画家たちが職にあぶれるようになった。

契機に続々と誕生したデジタルジョブ(中産階級)によって、肖像画を描くことが一つのステータスとして需要が高まっていたが、それを吹き飛ばしたのは、1827年にニエプス兄弟(仏)によって発明された「写真」であった。少し遅く1839年には、ルイ・ジャック・マダールが、銀メッキ加工した銅板を感光材料として使う新技術を開発し、それがまたたく間に改良され、肖像写真として普及し始めると、画家たちが職にあぶれるようになった。

現に、私たちが目にするミレーの顔は、自画像ばかりでなく、写真家のナダールが写した肖像写真であることが多い。

また一方、1840年代の初めには、ねじ式キヤップがついた「錫製の押し出しチューブ入り絵の具」という、まさに画期的な考案がなされた。それまでの風景画は、外の風景をスケッチし、それをものにアトリエで制作していたものだが、その場で絵を仕上げることが可能になったのだ。



「種まく人」を、大地に種を振り撒く力強い農夫の姿を、キャンバス一杯に描き出した。このことから、絵画を装った社会主義者の政治的メッセージだ」との批判に晒されたのも無理はなかった。

「種まく人」を、大地に種を振り撒く力強い農夫の姿を、キャンバス一杯に描き出した。このことから、絵画を装った社会主義者の政治的メッセージだ」との批判に晒されたのも無理はなかった。

オスマンによるパリ大改造で、光の当たり出したパリが生み出したのが、後の「印象派」であった。その中1850年、ミレーが「サロン」に出品したのが、「種まく人」であった。

一方、日本でミレーの00周年を過ぎた2018年(平成30年)、そのマークが突然、宮崎駿監督の『トトロの生誕50周年』の刊行を記念し、本人描き下ろしのイラストに変えられてしまったのだ。

一方、日本でミレーの00周年を過ぎた2018年(平成30年)、そのマークが突然、宮崎駿監督の『トトロの生誕50周年』の刊行を記念し、本人描き下ろしのイラストに変えられてしまったのだ。



「夕暮れに羊を連れ帰る羊飼」のもとも、改めて「日本に文化の種をまく」をモチーフに、ミレーの『種まく人』を、すべての出版に「岩波マーク」として入れることにしたのだ。

近未来型 鉄骨加工工場

近藤鋼材株式会社

近藤鋼材株式会社

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

- 事務所 沼津市大岡517-4 鈴福ビル2F 電話(055)955-6600 FAX(055)955-6601
- 組合員
- (株)イワタ沼津工場 静岡生コン(株)
- 東宏生コンクリート工業株式会社 裾野生コン(株)
- 三島生コン(株) 渡邊工業株式会社 第一生コン工場
- (有)高田建材(株) タカムラ生コン
- 小野建設株式会社(株) 古藤田生コン
- 修善寺生コン工場(株) 広川生コン
- 新スルガ生コン(株)
- 二葉建設(株)生コン部 伊豆中央コンクリート有限責任事業組合

水と空気 人を育む環境を求めて

株式会社 ワールドエンジニアリング

本社/〒411-0816 静岡県三島市梅名371-2 TEL.055-984-1244 FAX.055-984-3154
 横浜支店/〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町542-6 東戸塚東口ビル3F TEL.045-523-7892 FAX.045-523-7893
 厚木支店/〒243-0815 神奈川県厚木市妻田西1-25-14 TEL.046-297-7622 FAX.046-297-7633

創業100年・最新技術・末永いサービス 省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工

片野設備株式会社 代表取締役社長 片野 彰一

ISO 9001 認証取得
 〒411-0035 静岡県三島市大宮町 3-3-12 TEL.055-971-2205(代) FAX.055-973-5246
 E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL: http://www.katanosetubi.co.jp